

# 「接続期プログラム」

～幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指して～



平成24年3月  
埼玉県教育委員会

## はじめに

<b>1 幼児期の教育から小学校教育へ</b> .....	4
(1)本県の取組.....	4
(2)幼・保・小連携の現状.....	4
(3)「接続期プログラム」とは.....	5
(4)「接続期プログラム」の活用に向けて.....	5
<b>2 接続期プログラム(幼児期の教育と小学校教育の連続性)</b> .....	6
(1)生活や学びのつながり.....	6
(2)カリキュラム作成の配慮と工夫のポイント.....	8
・アプローチカリキュラム作成のために	
・スタートカリキュラム作成のために	
<b>3 生活や学びの具体的な姿(幼児期の教育と小学校教育のつながりをイメージするために)</b> .....	10
<b>4 研究指定校の取組から</b> .....	12
(1)アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム作成例.....	12
・秩父市の取組	
・加須市の取組	
(2)幼・保・小連携・交流の取組例.....	20
・川口市の取組	
・鳩山町の取組	
<b>5 参考資料</b> .....	22
子育ての目安「3つのめばえ」.....	22

## 平成23年度 「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方研究」

研究委嘱市町・研究指定校・研究協力園

川口市教育委員会

川口市並木小学校・学校法人川口文化幼稚園・学校法人文化学園並木南保育所

鳩山町教育委員会

鳩山町立鳩山小学校・鳩山町立鳩山幼稚園・社会福祉法人萌芽福祉会ひばり保育園

秩父市教育委員会

秩父市立吉田小学校・秩父市立吉田幼稚園・秩父市立吉田保育所

加須市教育委員会

加須市立志多見小学校・加須市立志多見幼稚園・加須市立第三保育所

近年、子どもの育ちが大きく変化していると言われ、基本的な生活習慣の欠如や小学校生活への不適応などが課題となっています。これらの課題の解決に向けて、幼稚園・保育所や小学校には、子どもの発達や学びの連続性を踏まえて、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図り、子どものすこやかな育ちを保證することが求められています。

このような中、埼玉県では幼児期の教育から小学校教育への接続を一層円滑にするために、平成21・22年に幼稚園・保育所・小学校が日常的、継続的に連携していくための「幼・保・小連携体制研究」を8市町教育委員会に委嘱し、市町村教育委員会を核とした連携体制づくりの研究に取り組んでいただきました。幼・保・小の連携の推進は、子どもの発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を展開する上で重要な取組であり、小学校の教育活動の充実に資するものであります。

また、平成22年度に、小学校入学までに子どもたちに身に付けてほしいこととして、子育ての目安「3つのめばえ」を策定いたしました。これは、幼児期の教育の一層の充実を図るとともに、幼児期の教育から小学校教育への接続を円滑にしようとするものです。

これらの取組を基盤として、今年度、川口市、鳩山町、秩父市、加須市において「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方研究」に取り組んでいただきました。研究指定校及び協力園の研究成果をもとに、県内幼稚園・保育所、小学校において、円滑な接続に向けてのスタートカリキュラムやアプローチカリキュラムを作成する際の指針となるよう「接続期プログラム」を作成いたしました。

本書が、幼児期の教育から小学校教育への、子どもたちのすこやかな育ちをはぐくみ、幼稚園・保育所と小学校が連携を深めていただくための一助となることを心から願っております。

結びに、本書の作成と「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方研究」推進会議において、御指導いただきました東京成徳短期大学教授和田信行様、積極的に研究に取り組んでいただくとともに本書の作成に貴重な御意見・資料提供等をいただきました研究委嘱市町教育委員会及び関係者の皆様に、心からお礼申し上げます。

平成24年3月

埼玉県教育局市町村支援部家庭地域連携課長  
土井 雅弘



# 1 幼児期の教育から小学校教育へ

## (1) 本県の取組

県では、子どもたちのすこやかな成長に向けて、幼児期の教育の充実と家庭の教育力の向上を図り、その成果を小学校教育に確実に引き継ぐことを目指しています。

### ○幼児期の教育の充実

#### ◆子育ての目安「3つのめばえ」(P.22参照)

子育ての目安「3つのめばえ」は、小学校入学までに子どもたちに身に付けてほしいことをまとめたもので、家庭や幼稚園・保育所・認定こども園、小学校等子どもにかかわるすべての大人が目安を共有することにより、幼児期の教育と家庭の教育の充実を図り、小学校生活のスタートを円滑にしようとするものです。

#### ◆「3つのめばえ」カルタ

「3つのめばえ」カルタは、子育ての目安「3つのめばえ」に示された内容を、具体的な子どもの姿として絵札・読み札に表したもので、保護者や教職員と子どもと一緒にカルタで遊びながら、子育ての目安「3つのめばえ」を意識していただくものです。

### ○幼稚園・保育所と小学校の連携の推進

#### ◆幼・保・小連携体制研究

平成21・22年度幼児期の教育から小学校教育への接続を一層円滑にすることを旨として、日常的・継続的に連携していくため市町村教育委員会を核とした連携体制づくりに取り組みました。

#### ◆地区別幼・保・小連携推進協議会

幼・保・小の教職員の相互理解の推進と幼稚園・保育所と小学校との連携の強化・改善を図るため、毎年4会場で開催しています。

### ○家庭の教育力の向上

#### ◆子育ての支援

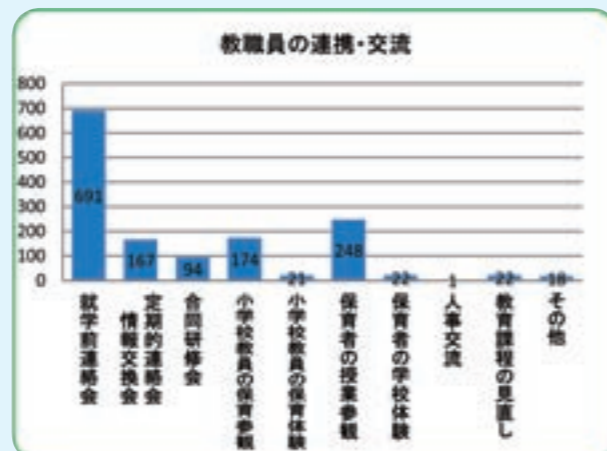
県内各幼稚園・保育所に埼玉県家庭教育アドバイザーを派遣し、在園児の保護者や地域の保護者に対する「子育ての支援」の充実に取り組んでいます。子育ての理解や子育てに必要な知識やスキルを学ぶ「親の学習」の他、保育体験をとおして幼児期の子どもを客観的に把握したり、幼稚園・保育所の先生から子育てについての知識を得たりする「保護者の保育参加」を推進しています。

## (2) 幼・保・小連携の現状

幼・保・小の連携により、教職員間で子どもの状況や指導の経過などの共通理解が図られ、子どもの成長や学びの連続性が確保され、幼児期の教育の成果を小学校に引き継ぐことができます。



◆平成23年度には、県内小学校698校(713校中)において、近隣の幼稚園や保育所等と連携・交流する取組を行っています。



◆具体的な教職員間の連携・交流は、就学前連絡協議会の開催が691校と最も多い。次いで、幼稚園・保育所の保育者の授業参観、小学校教員の保育参観、定期的連絡会・情報交換会となっている。

出典「学校調査」(平成18年度～22年度) 埼玉県教育委員会  
「学校の教育活動に関する調査」(平成23年度) 埼玉県教育委員会  
【対象】さいたま市を除く埼玉県内の公立小学校

本県では、平成21年度から実施している「埼玉県教育振興基本計画～生きる力と絆の埼玉教育プラン～」において、平成25年度までに県内すべての公立小学校が近隣の幼稚園や保育所と連携することを目指しています。

## (3) 「接続期プログラム」とは

「接続期プログラム」とは、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図るためのものであり、接続期の教育内容のつながりをまとめた「生活や学びのつながり」(P6～7)とスタートカリキュラムなどを作成する際の「カリキュラム作成の配慮や工夫のポイント」(P8～9)から構成されています。

幼児期は「学びの芽生え(無自覚的な学び)の時期」、児童期は「自覚的な学びの時期」であり、幼児期の教育と小学校教育では、学び方に違いがあります。その接続を円滑にするためには、この「接続期プログラム」に基づいて、幼稚園・保育所、小学校がそれぞれにおいてカリキュラムを作成することが必要です。

なお、本プログラムにおいては、「接続期」を幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図る上で特に配慮や工夫が必要と思われる、「幼児期の教育の5歳児1月から小学校教育の第1学年5月まで」としてしています。

## (4) 「接続期プログラム」の活用に向けて

### ○アプローチカリキュラムの作成のための資料として

- ◆アプローチカリキュラムとは、幼稚園・保育所での子どもたちの育ちや学びを小学校につなぐために作成するカリキュラムです。小学校入学に向けて、言葉による伝え合いや、協同する遊びなどの学びを高めていくことが大切です。
- ◆アプローチカリキュラムを作成する際、幼児期の生活や経験が小学校でどのような生活や学びにつながっているのかを見通すための資料として「接続期プログラム」を活用してください。

### ○スタートカリキュラムの作成のための資料として

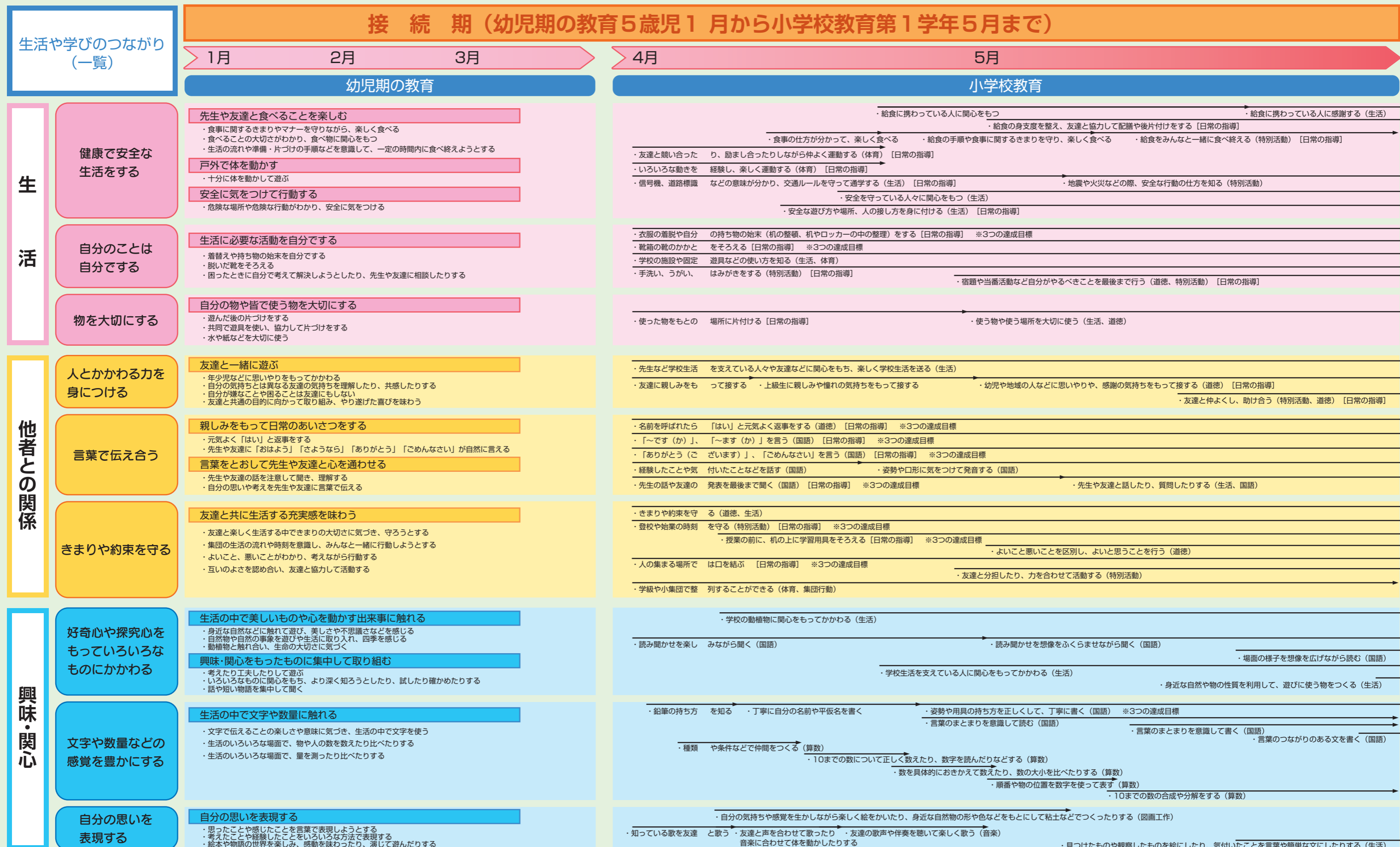
- ◆スタートカリキュラムとは、小学校に入学した子どもたちがスムーズに小学校の生活や学びに適応できるように作成する1年生入学当初のカリキュラムです。
- ◆スタートカリキュラムを作成する際、幼児期のどのような経験が、小学校の生活や学びの土台となっているかを確かめるための資料として、また具体的な指導計画を立てるための資料として「接続期プログラム」を活用してください。

### ○幼・保・小の教職員の連携の資料として

- ◆幼・保・小の教職員の合同研修会等において、互いの教育・保育の内容や子どもたちの学び方を理解したり、スタートカリキュラムやアプローチカリキュラムの工夫について意見交換・情報交換したりする際の資料として「接続期プログラム」を活用してください。
- ◆幼稚園・保育所、小学校で、子どもたちの生活や学びを確かめるための資料として「接続期プログラム」を活用してください。

# 2 接続期プログラム (幼児期の教育と小学校教育の連続性)

## (1) 生活や学びのつながり



\* ( ) 内は、教科等で指導する [日常の指導]は、学校生活において日常でも指導する ※3つの達成目標とのかかわり → は、指導時期の目安



## (2)カリキュラム作成の配慮と工夫のポイント

### ・アプローチカリキュラム作成のために(幼児期の教育5歳児)

配慮と工夫のポイント

#### 時間の工夫

- 修了に近い時期には、小学校での生活に配慮して、学級全員で活動することを意識的に取り入れるようにします。
- 登降園時の活動や当番活動、昼食の準備・片づけなど一日の生活の流れが分かって、自分から進んで行動できるようにします。

#### 保育の工夫

- 友達と目的を共有し役割を分担して一緒に遊ぶ中で、充実感や達成感を味わい、意欲的に生活できるようにします。
- 自然の素材や自然現象などを遊びに取り入れ、自然の不思議さを十分に体験できるようにします。
- 友達と一緒に遊ぶ中で、考えたり試したり工夫したりする経験が十分にできるようにします。
- 友達と互いに表現し合いながら、歌や動き、描画、言葉など様々な表現のおもしろさを感じることができるようになります。

#### 人間関係の配慮

- 友達と共に生活する中で、互いのよさを分かり合い、信頼関係を十分に築くようにします。
- 小学生とかかわる中で、あこがれの気持ちをもてるようにします。
- 行事などとおして、年少児や地域の人々とかかわる機会を設け、いろいろな人に親しみをもてるようにします。

アプローチカリキュラム作成例

5歳児1月～3月	
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と一緒に必要なきまりを自分たちで作成、友達同士で教え合うなどしてそのきまりを守って遊ぶようになる。</li> <li>○遊びの継続時間が長くなり、じっくりと取り組むようになる。これまで大勢での遊びに加わろうとしなかった幼児も、自分から参加するようになる。</li> <li>○修了を意識して生活発表会に意欲的に取り組み、自分の意見を出し合ったり、自分たちで劇の道具を作ったりセリフを考えるようになる。</li> <li>○皆で一緒に活動し、力を合わせてやり遂げる喜びを味わえるような生活の中で、学級の集団としての意識が高まる。</li> </ul>
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大勢の友達と目的を共有し、友達と相談しながら見通しをもって進める。</li> <li>○目的や課題に向かい、根気強く取り組んだり、工夫したりしてやり遂げた喜びを味わう。</li> <li>○冬の自然現象に興味をもち、見たり試したりする。</li> <li>○小学校入学を喜び、自分の成長に自信と自覚をもつとともに、身近な人々への感謝の気持ちをもつ。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と一緒に同じ目的に向かって活動に取り組み、相談したり工夫したりしてやり遂げる。</li> <li>○生活の中で標識や文字の必要性に気付く。</li> <li>○音楽に親しみ、イメージを楽器や体の動きなどで表現する。</li> <li>○共同で使う道具や用具を大切に使う。</li> <li>○生活に必要な物を工夫して描いたり作ったりする。</li> <li>○感謝の気持ちを身近な人に伝えようとする。</li> </ul>
環境の構成・援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一日の生活の流れを意識して活動できるようにする。</li> <li>○生活発表会など、友達とイメージを共有し見通しをもって取り組むことを通して、やり遂げた喜びと満足感が味わえるようにする。</li> <li>○修了の記念品づくりや修了式までの準備などは、各自が思いを込めて取り組めるように計画し、園生活最後の時期を充実感をもって過ごせるようにする。</li> <li>○小学校を見学したり小学校の先生の話や話を聞いたりして、小学校入学への期待感と自覚を高める。</li> <li>○霜柱や氷、雪など冬の自然現象に気付けさせ、触れて遊ぶ中で、不思議に思ったり、試したり調べたりする経験ができるようにする。</li> <li>○就学に向けて、一人一人の育ちを確かめ家庭との連携を図る。</li> </ul>

#### 家庭との連携

- 基本的な生活習慣を身に付け自分でできるように、家庭と連携をとり、子どもの育ちを確かめます。
- 保護者や個人面談などを行い、保護者に小学校入学までの生活の見通しを伝えます。保護者の不安に対しては、小学校と連絡を取り合ってお互いに対応できる体制を整えます。

#### きまりへの適応と安全への配慮

- 友達と共に気持ちよく過ごすためにはルールが必要なことがわかり、守ろうとする気持ちを育みます。
- 友達と共に生活する中で、自分の気持ちを伝えたり、時には折り合いを付け自分の気持ちを調整したりする経験をできるようにします。
- お別れ遠足では、交通ルールを守って行動することや公共の場での行動の仕方などを知らせます。

#### 小学校生活に向けての配慮

- 小学生と交流することとおして、あこがれの気持ちを抱き、小学校生活に期待をもてるようにします。
- 学校見学や学校体験をとおして、小学校の施設や生活の様子を知り、入学への期待と自覚をもてるようにします。
- 幼児期における指導の経過を要録にまとめ、小学校へと引き継ぎます。子育ての目安「3つのめばえ」を活用し、子どもの育ちを確かめます。

配慮と工夫のポイント

### ・スタートカリキュラム作成のために(小学1年生)

配慮と工夫のポイント

#### 時間割の工夫

- 生活科を核とした総合的な指導を取り入れることで、子どもの思いや願いの実現に向けた活動をゆとりとした時間の中で進めます。
- モジュール学習を取り入れ、子どもの実態に応じて、徐々に45分の授業に慣れるようにします。

#### 授業の工夫

- 体験的な活動や操作などを取り入れることで、これまでの子どもたちの経験が活かされ、分かりやすい授業になり、学習意欲が高まります。
- 子どもたちができることを認めたり、励ましたりして満足感・充実感をもって学習できるようにします。
- 専科、学習補助員などが授業に入ることで、一人一人の子どもにきめ細やかに対応します。

#### 人間関係の配慮

- 学年やグループなどの活動を取り入れることで、親しい友達とのかかわりを軸に子ども同士の人間関係が広がります。
- 学校生活の始まりには、子どもたちが不安を感じがちです。日々の健康観察や下校時に一言声を掛けるなど、子どもとの信頼関係を築くことを心がけます。

	4月9日(月)	4月10日(火)	4月11日(水)	4月12日(木)	4月13日(金)
ねらい	第1週 テーマ【 がっこうだいすき たのしい ○○しょうがっこう 】 ○学校生活に必要なきまりや約束を少しずつ覚えながら、小学校生活を楽しく過ごす				
業前	○○タイム「(例)いきいきタイム」、あいさつ・健康観察 ☆名前を呼ばれたら元氣よく「はい」と返事をする。				
活動内容	いきいきタイムがはじまるよ 手遊び、リズム体操(学年合同)	みんなでうたおう(学年合同) ※音楽専科等	読み聞かせ ☆読み聞かせを楽しみながら聞く	6ねんせいといっしょにうたおう (学年合同)	
1	学活(0.5時間)(学年合同) ○「なかまづくり」ゲーム ・友達と一緒にゲームをする ☆友達に親しみをもって接する	音楽(0.5時間)(学年合同) ○みんなでうたおう ・友達と一緒に楽しく歌う ☆知っている歌を友達と歌う	体育(0.5時間)(学年合同) ○いろいろなならびかた ・学級、小集団での並び方を知る ◆衣服の着脱のしかたを学ぶ ☆衣服の着脱をする	行事(1時間) ○こんにちは1ねんせいのかい ・他学年と交流する ◆出席番号順の並び方を学ぶ ☆人の集まる場所では口を結ぶ。	
2	行事(1時間) ○入学式 13:30 ・ロッカー、靴箱、傘立ての位置を知る	生活(1時間) ○がっこうのことがしりたいな ・自分の教室を知る ・トイレ、流しの場所を知る ◆個人で管理する場所や、学級で使うものの使い方、トイレの使い方を学ぶ	生活(1時間) ○がっこうにいこう ・登下校時のあいさつや交通ルールを学ぶ	生活(1時間) ○なかくよくなりたないな ・工程で友達と遊ぶ ・友達と仲よく遊ぶためのきまりや約束を知る ◆家庭での遊び方を学ぶ	生活(1時間) ○がっこうのことがしりたいな ・校長室の場所を知る ・校長先生の話を知る ・他学年の教室を知る ◆校長室の入り方の約束を学ぶ
3	学級活動(1時間) ・担任の名前を知る ・返事の仕方を知る ・友達を知る ◆返事の仕方や下校の準備の仕方を学ぶ ◆家庭との連携を図る	生活(1時間) ○「みつけたものをはなす」 ・教室やトイレ、流しで見つけたものについて話す	生活(1時間) ○がっこうのことがしりたいな ・保健室、職員室の場所を知る ◆廊下歩行や、職員室の入り方の約束を学ぶ	図工(0.5時間) ○すきなもののいっぱい ・好きなもの、描きたいものを想像しながら描く ◆クレヨンなどの使い方を学ぶ	算数(0.5時間) ○なかまをつくらう ・図工で描いた作品を種類や条件などで仲間をつくる
4	図工(0.5時間) ○すきなもののいっぱい ・好きなもの、描きたいものを想像しながら描く ◆クレヨンなどの使い方を学ぶ	生活(0.5時間) ○がっこうのことがしりたいな ◆廊下の支度を学ぶ	道徳(1時間) ○たのしい がっこう ・学校にかかわる人々に関心をもつ ☆きまりや約束を守る ◆学習の準備の仕方を学ぶ	算数(0.5時間) ○なかくよくなりたないな ・好きなもの、描きたいものを想像しながら描く	算数(0.5時間) ○なかくよくなりたないな ・好きなもの、描きたいものを想像しながら描く
	一斉下校 ◆安全な登下校の仕方を学ぶ		学年下校 ◆安全な登下校について学ぶ ◆出迎えの保護者と連携を図る ☆信号機、道路標識などの意味が分かり、交通ルールを守って通学する		

#### 家庭との連携

- 入学式や懇談会の他、連絡帳や学級だよりなどで家庭との連携を図ります。小学校生活に関するアンケートを実施し、子どもたちの課題や、保護者の不安を把握し、指導に生かします。

#### きまりへの適応と安全への配慮

- 子どもたちが、友達と集団で生活しながら、体験をとおしてきまりやルールの必要性や大切さなどを感じて身に付けるようにします。
- きまりやルールは、安全面に関するものを優先的に指導します。特に登下校では、子どもが自分の目で危険を予測し、安全に行動することができるように、場面や状況に即した安全な行動を具体的に教えます。

#### 幼児期の経験を生かす配慮

- 入学までに子どもたちが経験したことや身に付けたことを生かすことで、意欲をもって学習することができます。子どもたちは、園で決められた約束を守って固定遊具で遊ぶことや、大勢の友達と遊びながら自分たちのルールを作ったり、変えたりしながら楽しく遊ぶことなどを経験しています。環境の違いや個人差が大きいことを踏まえ、一人一人の姿をよく見つけながら、子どもたちができることや経験していることを生かした授業を行います。

配慮と工夫のポイント



# 3 生活や学びの具体的な姿

(幼児期の教育と小学校教育のつながりをイメージするために)

## 幼児期(5歳児)の姿

- 1 時期 3年保育5歳児 平成〇〇年1月24日
- 2 ねらい ○ 友達と数え合ったり、競い合ったりする中で、いろいろな友達のよさに気付く。
- 3 内容 ○ 自分たちでルールや場をつくり、遊びを進める。

### ドッジボールをする場面から

K児「RちゃんはOちゃん、JちゃんはIちゃんを守ってくれない？AちゃんはNちゃんを守ってあげて。」  
 強いと思う幼児に友達を守ってあげるよう提案して1対1の組を作る。メンバーは、K児から指名されるのを待って、じっと聞いている。  
 M児「ボールはこうやって持つ。」  
 M児は、メンバーにボールを落とさないように持つようやって見せる。メンバーはそれを見てうなづく。  
 F児「うしろ向かない方がいいね。」  
 B児「ボールが来たら、すぐこっちを向く。」  
 D児「ボールは、強く投げる。」  
 G児「(人が)多い方に投げた方がいいでしょ。」  
 D児「うん。多いところに投げる。」  
 「男の子は強く投げるから、こっちも本気で早く投げて逃げる。足下きたのはジャンプして逃げる。」  
 メンバーはじっと話を聞きながら、互いに顔を見合わせたりうなづいたりしている。

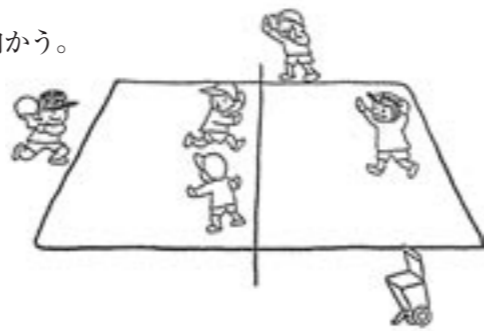
### [体を動かして遊ぶ]

ドッジボールは、11月から継続して遊んでいる。はじめのうちはボールを受け止めることや投げるのが難しく、一度ボールを投げるとしばらく中断してしまうこともあったが、3学期には、ある程度狙ってボールを投げたり、内野と外野でボールのやりとりをしたりする姿が見られるようになった。ドッジボールのおもしろさを味わえるようになった背景には、幼児の運動能力の育ちがある。

### [友達と競い合ったり教え合ったりする]

日頃ドッジボールに積極的に参加している幼児が中心になって、自分が体得したことを友達に知らせようと発言し、「作戦タイム」が成立していた。「ゲームに勝つために」という目的を共有することで、それぞれの考えを出し合い、友達の意見も聞いて、話し合いが進んでいた。

D児「ドッジやろうか、昨日の続きでしょ。」  
 C児とD児が話しながら、紅白帽子を持って、園庭のコートに向かう。  
 C児「赤？白？」  
 D児が帽子を赤にしておぼろのを見て、  
 C児「じゃ、赤」  
 D児「2人で赤？」  
 A児B児がすでにコートに入っている。  
 C児「ぼく、赤になりたい。」  
 A児「だめだよ、Cちゃんは白。」  
 「白、白、赤。」と、自分や友達を指さしながら言う。  
 C児「白じゃダメ？」と、D児に聞く。



### [人数を数えてチームに分れる]

初めのうちは人数が違っていても気にしていなかったが、ゲームの楽しさが分かり競い合う意識が出てくると、ゲームを始める前にはチームの人数を数え、人数を揃えようとするようになった。チームの分け方は、その時々やメンバーによって様々である。リーダーシップをとる幼児が割り振って決めたり、人数が合わないジャンケンで決めたりすることもあった。人数を揃えようとして、「あと一人、入る人はいませんか。」と探したり、「2人なら入れてあげる。」と途中から加わる幼児に条件をつけたりすることもあった。

## 小学生(1年生)の姿

- 1 教科名・単元名 体育 「多様な動きをつくる運動遊び(体づくり運動)」
- 2 本時の目標 ○ ルールを守り、仲よく運動しようとしている。【関心・意欲・態度】  
○ 仲間と楽しみながら、多様な動きをつくる運動遊びをすることができる。【思考・判断】

### 3 主な学習活動

#### (1) 体を移動する運動遊び

##### びよんびよんランド(移動)



動きのレパートリーを増やすため、どのような動きがよいかを子どもにも分かるよう、実際に動きを示す。

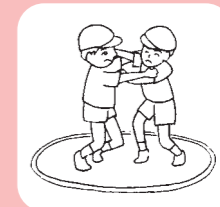
##### スキップランド(移動)



運動遊びの楽しさを味わい、子どもたちの歓声があがる活動の場を工夫する。

#### (2) 力試しの運動遊び

##### すもうランド(力試し)



今度は負けないぞ!

ルールが守れなかったり、勝敗のトラブルも起きやすくなったりするので、相手に対するマナーを指導する。

### 1 教科名・単元名 国語 「わけをはなそう」

- 2 本時の目標 ○ 気持ちとわけについて、進んで話そうとしている。【関心・意欲・態度】  
○ 気持ちを先に話し、その後にわけを話している。【話すこと・聞くこと】

### 3 主な学習活動

#### (1) 女の子の表情から気持ちを想像する。

女の子の3つの表情(笑顔、泣き顔、怒り顔)を示し、それぞれの表情から気持ちを想像する。  
 (笑顔の絵を示しながら…)  
 T「この顔の女の子は、どんな気持ちだと思いますか？」  
 C「うれしい気持ちだと思います。」  
 T「うれしいと感じるときは、どんな時ですか？」



ほめられたときです。

私もおうちの人にほめられた時、うれしかった。

子どもが想像をふくらませることができるよう、質問を投げかけたり、一緒に考えたりする。

#### (2) 女の子の気持ちを先に話、その後にわけを話す。



女の子は、うれしかったと思います。どうしてかという、朝顔の絵をほめられたからです。

想像した女の子の気持ちと、そのわけを整理して話す経験をさせる。

### 1 教科名・単元名 算数 「いくつといくつ」

- 2 本時の目標 ○ 5について、他の数を用いていろいろな組み合わせを考えて表そうとしている。【関心・意欲・態度】  
○ 5について、具体物を用いて数を合成したり、分解したりできる。【技能】

### 3 主な学習活動

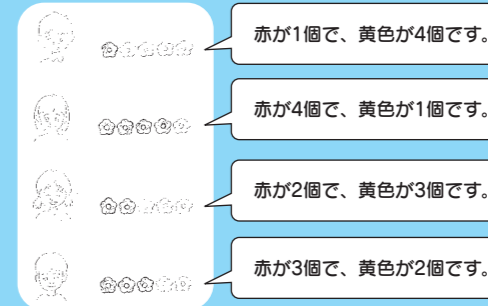
#### (1) 自力解決をする。

箱の中におはじきを入れます。ここからおはじきを5個取り出します。赤が何個で黄色が何個か、数えて、その数をプリントに書きましょう。



他の数を用いていろいろな組み合わせを考える意欲が高まるよう、操作的な活動を入れる。

#### (2) 各自の結果を発表する



赤が1個で、黄色が4個です。

赤が4個で、黄色が1個です。

赤が2個で、黄色が3個です。

赤が3個で、黄色が2個です。

取り出したおはじきを順に並べ、数を数えることで、量としてとらえられるようにする。

並び替えてみると、結果を表しやすくなったり、友達と結果が比べやすくなったりするのを体験させる。



# 4 研究指定校の取組から

## 秩父市の取組

### 秩父市立吉田小学校

#### (1)アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム作成例

期	1 1 期 (4, 5月)	1 2 期 (6, 7, 8月)	1 3 期 (9, 10月)	1 4 期 (11, 12月)	1 5 期 (1, 2, 3月)
「3つのめばえ」	よくあそぼう	子どものことば、じふんです	だれとでもなかよく	つくつたよ、だから	これからみんなは、年生
子育ての目安	幼稚園 ・小学校始業式【4月18日】 「小学校の遊を歩いてみよう」 ・小学校始業式【4月中旬】 「小学校の遊を歩いてみよう」 ・小学校始業式【5月10日】 「小学校の遊を歩いてみよう」	幼稚園 ・小学校1年生授業参加【6月21日】 「小学校の遊を歩いてみよう」 ・小学校2年生授業参加【6月22日】 「2年生の遊を歩いてみよう」 ・小学校2年生授業参加【7月7日】 「2年生のお話を聞いてみよう」	幼稚園 ・1・2年生の体育見学【9月15日】 「リズム表現しよう」 ・小学校運動会参加【9月17日】 「ドレキキ・ワクワク運動会」 ・小学校就学時健康診断【10月6日】 「もう1年生だ」 ・小学校1年生授業参加【10月14日】 「お兄さんお姉さんと一緒に遊ぼう」	幼稚園 ・小学校就学時健康診断【11月9日】 「お兄さんお姉さんと一緒に遊ぼう」 ・小学校運動会参加【11月17日】 「感謝の気持ちをありがとう」 ・フェスティバル参加【12月8日】 「2年生のフェスティバルで遊ぼう」 ・1年生幼稚園訪問【12月9日】 「発表会さいごまでがんばります」	幼稚園 ・小学校就学時健康診断【11月18日】 「新筆を使って練習しよう」 ・3年生幼稚園招待【2月7日】 「龍勢祭りにきてね」
生活	一日の生活の流れを意識する	(活動する時間を意識する)	(見通しをもって活動を進める)	(当番活動を自信をもって行う)	(生活リズムを確立する)
生活	きまりやマナーを守り楽しく食べる(40分)	(牛乳パックのリサイクルをする)	(決まった時間内にトイレに行く)	(トイレの履き物を揃える)	(決められた時間内で食べる30分)
生活	(一人でトイレに行く)	(決まった時間内にトイレに行く)	(決まった時間内にトイレに行く)	(決まった時間内にトイレに行く)	(一人でトイレに行く)
生活	(衣服の着脱をする)	(衣服を脱いだみ決められた場所に行き)	(自分の物を整理整頓する)	(クラスの友達と協力して整理整頓する)	(給食時間時に荷物の整理を行う)
生活	(元氣よく自然にあいさつをする)	(誰にも笑顔であいさつをする)	(人との交流の場であいさつをする)	(行事や集まりで役割を担当する)	(物面に合わせてあいさつをする)
生活	(思いや感じたことを表現する)	(教師や友達と会話を楽しむ)	(行事や集まりで役割を担当する)	(大勢の人の前で話をすることを練習する)	(話を静かに聞ける)
生活	(教師や友達の話を聞く)	(集団で話を聞いたり、移動する練習をする)	(絵本や紙芝居を静かに見たり聞いたりする)	(物語や話の内容を理解して表現する)	(話を静かに聞ける)
生活	(異年齢児に思いやりや礼儀を教える)	(友達とよく活動を進める)	(自分の気持ちや考えを表現する)	(友達と目的をもって活動をする)	(年齢に応じた中心となる活動をする)
生活	(幼児のよさを十分に認める)	(幼児との信頼関係を築く)	(学級・学年集団の関わりの中で行動する)	(学級・学年集団の関わりの中で行動する)	(卒園の喜びを共に味わう)
生活	(季節を感じる体験をする)	(園外保育・遠足参加)	(自然物に触れて遊ぶ)	(自然物に触れて遊ぶ)	(地域の行事や取組に参加する)
生活	(出席ノートにシールを貼る)	(田付・天気や掲示物から意識する)	(時計を見て次の活動を意識する)	(文字や数字に興味をもつ)	(遊びの中で形・数・文字を使う)
生活	(クレヨンや絵の具を使う)	(経験したことを絵に表現する)	(色々な素材に触れる)	(ルールを守り、思いやりの活動をする)	(友達と協力して作品を作る)
生活	(園庭を元気に走る)	(固定遊具で遊ぶ)	(友達と集団遊びをする)	(伝承遊びをする)	(新しいことや苦手なことにも挑戦する)
生活	(校庭見学)	(授業参加)	(児童とのかわり)	(児童とのかわり)	(小学校入学を意識する)
生活	(季節を感じる体験をする)	(園外保育・遠足参加)	(自然物に触れて遊ぶ)	(自然物に触れて遊ぶ)	(地域の行事や取組に参加する)
生活	(出席ノートにシールを貼る)	(田付・天気や掲示物から意識する)	(時計を見て次の活動を意識する)	(文字や数字に興味をもつ)	(遊びの中で形・数・文字を使う)
生活	(クレヨンや絵の具を使う)	(経験したことを絵に表現する)	(色々な素材に触れる)	(ルールを守り、思いやりの活動をする)	(友達と協力して作品を作る)
生活	(園庭を元気に走る)	(固定遊具で遊ぶ)	(友達と集団遊びをする)	(伝承遊びをする)	(新しいことや苦手なことにも挑戦する)
生活	(校庭見学)	(授業参加)	(児童とのかわり)	(児童とのかわり)	(小学校入学を意識する)

【幼稚園・保育所・小学校の教育目標、活動内容の共通理解】

- 保育参観 ○ 学級懇談会 ○ 全体総会
- 園便り ○ 学年便り ○ 小学校招待行事
- 希望個人面談 ○ 就学時健康診断 ○ 小学校一日入学

【幼稚園・保育所・小学校との教育活動の連続、交流活動の充実】

- 園便り ○ 学年便り ○ 小学校招待行事
- 幼稚園保育所合同運動会 ○ 保育参観懇談会
- 希望個人面談 ○ 就学時健康診断 ○ 小学校一日入学

学年の重点	遊びの幅を広げながら、友達の良いさに気づき、生活に必要な習慣や態度を身に付ける
教育目標	あかるく なかよく たくましく
期	1 1 期 (4, 5月)
主な行事	・始業式4/11・入園、入所式12日 ・給食、預かり保育開始4/13 ・身体測定、保育参観、バス避難訓練 ・親子交通安全教室、野菜苗植え ・4歳児と遠足(クラス別) ・内科、歯科検診、英語で遊ぼう
接幼小交流	・小学校校庭散策(幼児) ・小学校周辺散歩(幼児)
発達の過程	⑤ 5歳児クラスになったことを喜び、小さな活動に積極的に取り組もうとする。 ⑥ 自分のやりやりの活動や、仲良しの友達とのかかわりを楽しむ。 ⑦ 異年齢児とのかかわりながら、やさしく接しようとする気持ちを持つ。 ⑧ 元氣よく「はい」「ありがとう」「ごめん」「さようなら」が自然に言えるようになる。 ⑨ 生活の流れや時刻を意識し、みんなと一緒に行動しようとする。
ねらい	⑤ 5歳児クラスになったことを喜び、様々な活動に積極的に取り組もうとする。 ⑥ 自分のやりやりの活動や、仲良しの友達とのかかわりを楽しむ。 ⑦ 異年齢児とのかかわりながら、やさしく接しようとする気持ちを持つ。 ⑧ 元氣よく「はい」「ありがとう」「ごめん」「さようなら」が自然に言えるようになる。 ⑨ 生活の流れや時刻を意識し、みんなと一緒に行動しようとする。
内容	⑤ 自分のやりやりの遊びをする。 ⑥ 園生活にかかわる仕事(当番活動など)を頑張る。頭張ってやろうとする。 ⑦ 異年齢児に思いやりやきもちを持ってかかわる。 ⑧ 同じ目的をもったグループで、遊びや活動に取り組む。 ⑨ 新しい環境に自分からかかわり、生活の場を広げる。 ⑩ 春の自然にふれたり、身近な動植物に親しみをもってかかわり、美しさや不思議さを感じる。 ⑪ 友達と運んで戸外に出て、体を動かして遊ぶ。 ⑫ 絵本や紙芝居を楽しみにしながら聞く。
1 2 期 (6, 7, 8月)	・防犯避難訓練・園外保育 ・ジャガイモ掘り・地震避難訓練 ・サツマの苗さし・英語で遊ぼう ・プール掃除・プール開き6/14 ・バス避難訓練・終業式7/19 ・夏季休業7/20～・個人面談 ・小学校授業参加(1年生) ・小学校授業参加(2年生) ・児童幼稚園訪問(1年生)
1 3 期 (9, 10月)	・第2学期始業式9/1 ・地震避難訓練・英語で遊ぼう ・身体測定・幼保祖父母参観 ・幼年消防大会10/13 ・幼保運動会・親子バス遠足 ・幼保防災避難訓練 ・小学校運動会練習参加 ・小学校運動会参加(保護者同伴) ・小学校訪問(職場訪問) ・小学校授業参観(全学年)
1 4 期 (11, 12月)	・園開放11/1, 2(半振りなど) ・英語で遊ぼう・観劇会 ・職場訪問11/16, 17 ・修了記念撮影12/1 ・保育参観・たのしみ会 ・個人面談・終業式12/22 ・小学校フェスティバル参加 ・小学校取組参観参加 ・小学校就学時健康診断 ・児童幼稚園訪問(1年生)
1 5 期 (1, 2, 3月)	・第3学期始業式1/10 ・英語で遊ぼう・バス避難訓練 ・豆まき遊び・火災避難訓練 ・白砂公園園外保育 ・お別れ遠足・お別れ会 ・修了証書授与式3/16 ・小学校授業参観(1年生) ・小学校授業参観(2年生) ・小学校授業参観(3年生) ・小学校一日入学
学年の重点	遊びの幅を広げながら、友達の良いさに気づき、生活に必要な習慣や態度を身に付ける
教育目標	あかるく なかよく たくましく

スタートカリキュラム 【第1週 平成24年4月10日(火)～4月13日(金)】

【第1週のねらい】1年生になったことを喜び、話を聞くことを少しずつ覚えながら、小学校1年生の生活について不安がなくなり楽しく過ごすようになる。

	9日(月)	10日(火)	11日(水)	12日(木)	13日(金)
朝			健康観察 (挨拶・返事)	読み聞かせ 健康観察 (挨拶・返事)	読み聞かせ 健康観察 (挨拶・返事)
1			〈はじめの音楽〉 手遊びをしよう うたでなかよしになろう	〈はじめの国語〉 なかよし 教科書の使い方 学習用具の出し入れ	はじめの生活 みんなでがっこうを あるこう (1階) 整列の仕方 廊下の歩き方
2		〈学行〉 入学式 元気に挨拶や返事を しよう	〈はじめの生活〉 がっこうにいこう 安全な登下校帰りの 準備・整列 安全な歩き方	〈はじめの生活〉 がっこうのことがし りたいな くつばこ、ロッカー、 水道、トイレの使い方	はじめの国語 みんなとたのしく 校長室へ入るときの マナーを話し合う 見つけたことを話す
3		〈はじめの学活〉 担任の自己紹介 持ち物の確認	〈はじめの道徳〉 たのしいがっこう 楽しい学校生活 安全な学校生活	〈はじめの図工〉 好きなものいっぱい クレパスの扱い方	〈はじめの生活〉 がっこうのひととな かよくなろう 保健室の先生となかよ しになろう
4		記念写真撮影			
5					
下校			11:45	11:45	11:45

【○環境の構成 ※支援・準備資料等】

- 教室、廊下などに花飾り、輪飾り、かわいい絵などを掲示しておく。
- 教室の机やロッカーに名前を記入したシール等を貼っておく。
- 登下校の班のグループを作成しておく。
- 下校班の集合場所を裏庭のフェンスに表示しておく。
- ※ 一人一人を温かく受容する。
- ※ 他園、他所から入学してきた児童の人間関係作りに配慮する。
  - ・ 保護者への連絡事項を整理(学習面、健康面等)
  - ・ 学年便りの準備
  - ・ 教科書、学年便り、教科書等、配布物の確認
  - ・ 紙芝居や絵本の準備
  - ・ 幼稚園や保育所で歌った手遊びや歌の掲示
  - ・ 給食の配膳について給食配膳員と打ち合わせ
  - ・ 食物アレルギーについて学校栄養士と打ち合わせ

スタートカリキュラム 【第2週 平成24年4月16日(月)～4月20日(金)】

【第2週のねらい】学校で友達と過ごすことやみんなで過ごすことに関心をもち、楽しく遊んだり、学習に取り組んだりするようになる。

	16日(月)	17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金)
朝	朝会 健康観察 (挨拶・返事)	読み聞かせ 健康観察 (挨拶・返事)	6年生による紙芝居 健康観察 (挨拶・返事)	室内ゲーム 健康観察 (挨拶・返事)	室内ゲーム 健康観察 (挨拶・返事)
1	〈はじめの国語〉 鉛筆の持ち方 正しい姿勢 運筆練習	〈学行〉 身体測定	〈はじめの国語〉 しりたいなみんなの なまえ 名刺作り	〈はじめの生活〉 みんなでがっこうを あるこう 多目的ホール 図書室	〈はじめの体育〉 体育館の使い方を知 ろう いろいろな並び方 かけっこ
2	〈はじめの音楽〉 手遊びをしよう うたでなかよしにな ろう	〈学行〉 身体測定	〈はじめの生活〉 みんなでがっこうを あるこう(2階) 整列の仕方 廊下の歩き方	〈はじめの国語〉 おはなしききたいな、 よみたいな おはなしたくさんきき たいな	〈はじめの算数〉 なかまづくりとかず 1から10までの数
3	〈はじめの学活〉 身体測定をうけよう 体操服に着替える 服のたたみ方	〈はじめの体育〉 固定遊具の遊び方を 知ろう いろいろな並び方 かけっこ	〈はじめの図工〉 がっこうで見つけた ことをえにかこう	〈はじめの図工〉 好きなものいっぱい 名刺に好きな絵をかく	〈はじめの道徳〉 あかるいあいさつ ・目を見て ・元氣よく ・こちらから先に
4	〈はじめの学活〉 みんなで給食 給食の準備 後かたづけ 楽しく食事	〈はじめの国語〉 鉛筆の持ち方 正しい姿勢 運筆 自分の名前を書く	〈はじめの算数〉 なかまづくりとかず 1から10までの数	〈はじめの国語〉 あいうえお ひらがな練習 「く」	〈はじめの国語〉 あいうえお ひらがな練習 「し」
5					
下校	1:20	1:20	1:20	1:20	1:20

【○環境の構成 ※支援・準備資料等】

- 時間割については柔軟な対応を行っていく。
- 掃除については6年生に手伝いに入ってもらう。(5月上旬まで)
- 名刺は絵や名前が書きやすいように、B5程度の大きめの紙を用意する。
- ※ 他園、他所から入学してきた児童の人間関係作りに配慮する。
- ※ 子どもたちがしたことやできたことをしっかりと認めていく。
  - ・ 掃除の手伝い、読み聞かせについて6年担任と打ち合わせ
  - ・ 紙芝居や絵本の準備



スタートカリキュラム 【第3週 平成24年4月23日(火)～4月27日(金)】

【第3週のねらい】学校での学習やみんなと一緒に活動することに関心をもって意欲的に取り組むようになる。

	23日(月)	24日(火)	25日(水)	26日(木)	27日(金)
朝	音楽朝会 健康観察 (挨拶・返事)	読み聞かせ 健康観察 (挨拶・返事)	6年生による紙芝居 健康観察 (挨拶・返事)	室内ゲーム 健康観察 (挨拶・返事)	室内ゲーム 健康観察 (挨拶・返事)
1	〈はじめの算数〉 なかまづくりとかず 1から10までの数	〈はじめの算数〉 なかまづくりとかず 1から10までの数	〈はじめの国語〉 いろいろなほんよみ たいな ひらがな練習 「て」「へ」	〈はじめの国語〉 いろいろなほんよみ たいな ひらがな練習 「い」「り」	〈はじめの体育〉 固定遊具遊び いろいろな並び方 かけっこ
2	〈はじめの音楽〉 うたでなかよしにな ろう ・歌 ・幼稚園の歌	はじめの生活 こうていもたんけん しよう 体育着を着て校庭へ いこう	〈はじめの生活〉 がっこうのひととな かよくなろう 校長先生となかよしに なろう	〈はじめの生活〉 みんなでがっこうを あるこう(3階) 整列の仕方 廊下の歩き方	〈はじめの算数〉 なかまづくりとかず 1から10までの数
3	〈はじめの生活〉 なかよくなりたいな 友だちと名刺交換	はじめの体育 固定遊具遊び いろいろな並び方 かけっこ	〈はじめの国語〉 しらせたいなわたし のなまえ 校長先生と名刺交換	〈はじめの図工〉 がっこうでみつけた ことをえにかこう	〈はじめの道徳〉 みんなのこうえん 学校生活の約束 廊下の歩き方
4	〈はじめの学活〉 がっこうのことがし りたいな チャイムでの生活 そうじのしかた	〈はじめの国語〉 いろいろなほんよみ たいな ひらがな練習 「つ」	〈はじめの算数〉 なかまづくりとかず 1から10までの数	〈はじめの体育〉 固定遊具遊び いろいろな並び方 かけっこ	〈はじめの国語〉 みんなとたのしく 学校の中を歩くときの ルールやマナー
5	〈はじめの図工〉 みてみていっぱい くったよ 粘土遊び	〈はじめの図工〉 みてみていっぱい くったよ 粘土遊び	〈はじめの学活〉 授業参観 お誕生日列車をつ くろう	〈はじめの国語〉 いろいろなほんよみ たいな 図書室へいこう 図書室の利用の仕方	〈はじめの音楽〉 うたでなかよしにな ろう
下校	2:50	2:50	2:50	2:50	2:50

【○環境の構成 ※支援 ・準備資料等】

- 毎日学習したことがわかるように、既習のひらがなや数字などを壁面に掲示していく。
- ※ 健診が増えてくるので、その意味について話をしたり、実演をしたりして、子どもたちが安心して受けられるようにする。
- ・ 学校探検について、学校全体の先生方と打ち合わせ
- ・ 歯科、内科健診について養護教諭と打ち合わせ

スタートカリキュラム 【第4週 平成24年4月30日(月)～5月4日(金)】

【第4週のねらい】学校での生活に慣れ、学校探検やいろいろな学習を楽しみにして取り組むようになる。また、祝日などがあっても落ち着いて過ごせるようになる。

	30日(月)	1日(火)	2日(水)	3日(木)	4日(金)
朝	振替休日	読み聞かせ 健康観察 (挨拶・返事)	6年生による紙芝居 健康観察 (挨拶・返事)	憲法記念日	みどりの日
1		〈はじめの算数〉 なかまづくりとかず 1から10までの数	〈はじめの国語〉 しりとり ひらがなの練習 「う」「と」		
2		〈はじめの生活〉 がっこうをたんけん しよう 2年生と一緒にグル ープごとに探検	〈はじめの生活〉 こうていもたんけん しよう 校庭の春の草花 飼育動物		
3		〈はじめの国語〉 がっこうでみつけた ことをはなそう	〈はじめの図工〉 しぜんとなかよし		
4		〈はじめの体育〉 固定遊具遊び かけっこ 鬼遊び	〈はじめの算数〉 なかまづくりとかず 1から10までの数		
5		〈はじめの書写〉 はじめのがくしゅう 鉛筆の持ち方 正しい姿勢 ひらがな	〈はじめの国語〉 いろいろなほんよみ たいな 図書室の本をかりよう 本の借り方		
下校		2:50	2:50		

【○環境の構成 ※支援 ・準備資料等】

- 探検して見てきたことやわかったことを表した絵をみんなが見られるように掲示する。
- ※ みんなが楽しんで遊べるようなルールのある遊びを取り入れる。
- ・ 図書貸し出しカードの準備
- ・ 学校探検について2年生担任と打ち合わせ

# 加須市の取組

## 加須市立志多見小学校

### 接続期におけるアプローチカリキュラム(3学期:5才児)

学びの概要	《 接続前期 》		3月
	自分の力を発揮する。不思議に思ったことを調べたり試したりする	友達と協力しながら遊びや生活を進めて充実感を味わう。	互いの成長を喜び、就学に期待をもつ。
幼稚園での保育活動	<p>・友達と共通の目的をもって遊びや生活をする。 ・自分の力を十分に発揮し、友達のよい所を認め合う。</p> <p>正月遊びをする。【言葉】【健康】 ・かるた ・すごろく ・羽根つき ・こま回し など</p> <p>冬の自然の現象に関心をもち、冬の生活の仕方を知る。【環境】【健康】 ・つらら、霜、氷 ・暖房 など</p> <p>運動遊びをする。【健康】【人間関係】 ・サッカー ・ドッジボール ・なわとび ・固定遊具 など</p> <p>生活発表会をする。【表現】【言葉】 ・劇遊びごっこ ・リズム表現遊び ・合奏や歌 など</p> <p>・小学校1日体験入学や、お楽しみ給食に参加する。【環境】【人間関係】</p> <p>・幼稚園生活を振り返る。 ・当番活動の引き継ぎをする。【言葉】【表現】【人間関係】 ・学校ごっこ など</p> <p>・入学へ期待をもって、残りの生活を十分楽しむ。</p> <p>・修了式に参加する。【言葉】【人間関係】</p>		
	<p>・かるたやトランプ、すごろく遊びをしながら文字や数図形等に関心がもてるようにする。</p> <p>・図鑑や絵本等を幼児がいつでも調べられるよう準備しておく。</p> <p>・進んで戸外に出て体を動かし、目的をもって取り組めるようにする。</p> <p>・ルールを守って集団で遊ぶ楽しさが味わえるようにする。</p> <p>・友達と共通の目的に向かって話し合ったり考えを出し合ったりしながら、遊びを進める。</p> <p>・生活発表会を通して達成感や充実感をもたせる。</p> <p>・小学校1日体験入学では、児童・幼児の気持ちが高まるような内容になるよう教師同士で話し合いを深める。</p> <p>・小学1年生と一緒に楽しんで参加できるように、言葉かけをする。</p> <p>・入学後にやってみたことを幼児と話し合う。</p> <p>・一人一人の幼児の成長を認め喜び合うことで、自信をもって卒園・入学できるようにする。</p>		
	<p>3つの自立</p> <p>健康で安全な生活 自分のことは自分で 物を大切に</p> <p>3つのめばえ</p> <p>&lt;生活&gt; ア.健康で安全な生活 イ.自分のことは自分で ウ.物を大切に</p> <p>&lt;他者との関係&gt; ア.人とかわる力 イ.言葉で伝え合う ウ.きまりや約束を守る</p> <p>&lt;興味・関心&gt; ア.好奇心・探究心をもってかわる イ.文字や数量の感覚を豊かに ウ.自分の思いを表現</p>		
	<p>避難訓練 (行事) 小学校</p> <p>劇遊びごっこ (表現・言葉) 5年生</p> <p>小学校体験入学 小学校</p> <p>生活発表会リハーサル 1年生</p> <p>学校ごっこ (言葉・表現・人間関係) 1年生</p> <p>お楽しみ給食 (健康・人間関係) 保育所・学校</p> <p>お別れ遠足 市内幼稚園</p>		
幼稚園	<p>☆入学することへの期待をもち、自信をもって行動する。【精神】</p> <p>☆様々な人々にお世話になったことを感謝する。【生活】</p> <p>☆成長を喜んだり年少児との別れを惜しんだりする。【精神】</p> <p>☆時計に関心をもち、見通しをもって生活を営む。【生活】</p> <p>☆やり遂げた満足感を友達と一緒に味わう。【精神】</p> <p>☆感じたことや経験したことを様々な方法で表現する。【学芸】</p> <p>☆お互いの認め合ったり譲ったりする気持ちをもつ。【精神】</p> <p>☆自分の思いや考えを相手に話し、人の話も聞いたりする。【生活】</p> <p>☆共通の目的をもって遊びを進める。【学芸】</p> <p>☆良いこと悪いことを判断し、行動しつづける。【生活】</p> <p>☆ルールを守って遊びを楽しむ。【生活】</p> <p>☆自然の不思議さに気づき、調べたり試したりする。【学芸】</p>		

### 接続期におけるスタートカリキュラム(1学期:1年生)

学びの概要	4月 《 接続中期 》	5月上旬 《 接続後期 》	3月	
	集団の中での新しい出会いを楽しむ。	自分の思いや感じたことを表現したり、友達の話に耳を傾けたりする。	担任・クラスの友達から、他学年、地域の方とかわり合いを広げていく。	
小学校での学習活動	<p>どきどきわくわく1年生【はじめての歩】</p> <p>①みんなとたのしく、がっこうにいこう (国1生1音1) (生1)</p> <p>②なかよくなりたいな (生1)</p> <p>③うたでなかよくなるう・友だちとなかよく歌おう (音1) (国1)</p> <p>④すきなものをいっばい (生1)</p> <p>⑤たのしいがっこう (道1) (生1)</p> <p>⑥みんなでがっこうを歩こう (生1) (生1)</p> <p>⑦がっこうをたんけんしよう (生1) (生1)</p> <p>⑧がっこうのひととなかよくなるう (生1) (生1)</p> <p>⑨校庭もたんけんしよう (生1特1)</p> <p>⑩あそび方をしよう ・草花や虫をさがそう ・ならび方をけんしゅうしよう (国1)</p> <p>⑪みんなでがっこうをあそぼう (生1) (生1)</p> <p>⑫1年生を迎える会 (行事1)</p>		<p>がっこうたんけん(生活) ・がっこうたんけんをしよう。 ・見つけたことをはなそう。 ・つらがくろがあるところ。</p> <p>きれいにさいてね、たくさんさいてね(生活) ・花を育てた経験を思い出そう。 ・2年生にあさがおのたねのまきかたを教えてもらおう。</p> <p>なつだ、いっしょにあそぼうよ(生活) ・志多見幼稚園の子と、むさしの村をたんけんしよう。 ・ニコニコなかよし公園に行こう。</p> <p>クルクルぐるーり(図工)</p> <p>しぜんとなかよし(図工)</p> <p>浮く・もぐる運動遊び(体育)</p> <p>おおきなかぶ(国語 音楽)</p>	
	<p>・多くの交流の場の設定 ・楽しく明るく環境構成 ・幼稚園や保育所の教師(前担任)の意図的支援 ・2年生との意図的交流 ・弾力的な学習時間(合科的・モジュール化) ・学習展開の工夫</p>		<p>伝え合う場 幼稚園や家での経験 園児と2年生とのふれあい 活動の楽しさの体験 自由な表現(音読・歌・動作)できる場の工夫 自由な表現(音読・歌・動作)できる場の工夫 自由な表現(音読・歌・動作)できる場の工夫 自由な表現(音読・歌・動作)できる場の工夫 自由な表現(音読・歌・動作)できる場の工夫</p>	<p>友達と一緒遊ぶ楽しさ 友達と力を合わせての劇化 安全への配慮 6年生とのふれあい 自由な表現(音読・歌・動作) 自由な表現(音読・歌・動作)</p>
	幼稚園	<p>学校たんけん (生活) 幼稚園・2年生</p> <p>なかよくなりたいな (生活) 幼稚園・2年生</p> <p>校外学習 (生活) 幼稚園・2年生</p> <p>リトミック (生活) 幼稚園</p> <p>夏だいっしょにあそぼうよ (生活) 幼稚園・2年生</p> <p>夏まつり (生活) 幼稚園・保育所</p>		
	小学校	<p>☆1年生になった喜びを感じ進んで行動しつづけることが増える。【精神】</p> <p>☆1年生を迎える会で、上級生との出会いを楽しみたりする。【生活】</p> <p>☆先生や友達とかわり、親しみを感ずる。【生活】</p> <p>☆これまでの友達からならに友達が広がっていき、嬉しさを感ずる。【精神】</p> <p>☆遊びの面白さや、自然の不思議さに気づき、みんなで遊びを楽しむ。【生活】</p> <p>☆幼稚園や保育所での経験を生かしてあさがおを育てる経験の少ない子は1年生に教えてもらう。【学芸】</p> <p>☆学校の施設や学校生活を支えている人々や自分たちの安全を守っている人々のことが分かる。【学芸】</p> <p>☆1年生の言葉を上手にしながら、園児に優しく接する。【精神】</p> <p>☆遊びの面白さや、自然の不思議さに気づき、みんなで遊びを楽しむ。【生活】</p> <p>☆友達と一緒にくり返す楽しさを発見していき、面白さを知る。【学芸】</p> <p>☆筆の動きと絵の具を塗ることを園児と一緒に楽しむ。【学芸】</p> <p>☆水遊びをする中で友達と張り合い、自分なりに試したり挑戦したりする面白さを感じる。【精神】</p> <p>☆自分の知っていることと重ね合わせながら新たな発見を友達に知らせたり話したりする。【学芸】</p> <p>☆場面を思い浮かべながら音読したり、歌に合わせて友達と協力しながらオベレッタをしたりして楽しむ。【学芸】</p>		



# 川口市の取組

## 川口市立並木小学校

2年生の幼稚園・保育所交流活動(5～10月)  
～ みんなあつまれやっほいほい～

### 1 交流活動に向けた事前準備

- ①幼稚園や保育所と連絡を取り、地域交流に関する取組を年間計画に位置づける。(4月)
- ②地域についての関心を高めるとともに、地域のことを知るため、子どもが様々な場所へ出かけ、地域の方にインタビュー等を行う。(5月)
- ③交流会の計画、招待状の作成等、地域の方々を迎える準備をする。(9月～10月)
- ④幼稚園・保育所と交流活動について調整を図る。(10月)

### 2 交流活動の実施

#### ①保育所見学



生活科を軸とした交流学习の一つとして、児童が保育所を訪れ、先生にインタビューをする。

#### ②幼児との交流 なみきっ子わくわくまつり



2年生が1年生を招いて手作り遊びの会を行っている。1年生に楽しんでもらえる遊びやルールを自分たちで考え、この日に向けて準備をする。



1年生との異学年交流による経験が、保育所の幼児に対して、より分かりやすく、優しく接したいという気持ちにつながった。

#### 3 事後の取組

- ・友達と協力できたことや、幼児とかかわることのよさや楽しさについて絵や作文等に表す。
- ・友達と協力できたことを発表する。

### 4 その他校内における交流活動

1年生が小学校生活に慣れるために異学年交流を行った。

#### 6年生による読み聞かせ



6年生の朝の登校時の活動のサポートや、絵本の読み聞かせにより、1年生は、落ち着いた雰囲気できちんと1日がスタートできる。

#### なかよしランチ



豊かな心を育て温かい人間関係を醸成するために、多彩な会食の活動を実施している。異学年交流となる「なかよしランチ」や「誕生給食」では、学級、学年をこえた仲間と一緒に給食を食べている。

### 5 成果と課題

- ・交流活動から児童の1年の成長を見取り、次年度「ここまで育てていく」という視点に立って、継続した指導へとつなげることができた。
- ・協力園との交流活動を行い、年長児が遊びながら人とかかわる様子を見ることで、どのように伝えれば幼児が理解できるのか、どのようなことが自分のできるのかなど発見が多く、幼児理解につながった。
- ・今後、年間を通して幼・保・小が情報交換する機会を増やしていく必要がある。

1年生の幼稚園・保育所交流活動(2～3月)  
～ もうすぐみんな2年生～

### 1 交流活動に向けた事前準備

- ①幼稚園・保育所と打合せを行い、行事の計画を立てる。
- ②教師は、幼稚園・保育所の5歳児を招待して、学校の楽しさを知らせようとする児童の気持ちを高める。
- ③児童は、入学してからの1年間で、できるようになったことを考えるとともに、幼稚園・保育所の5歳児に楽しんでもらうための交流計画を立てる。

### 2 交流活動の実施

#### ①幼児を迎える



幼稚園、保育所から年長児を招き、お互いに挨拶し、1年生が学校紹介をする。

#### ②交流活動の実施



縄跳び、こま、カルタで遊ぶ。カルタは、1年生が作成したものを使う。

#### ③幼児を見送る



年長児は、交流活動を通して、1年生への憧れへの気持ちと、小学校入学への期待をもつ。

### 3 事後の取組

- ・交流活動でがんばったことを発表する。
- ・入学当初の自分と現在の自分を比較し、成長したことについて発表する。
- ・新1年生を迎える準備をする。

## 交流活動の流れ(例)

計画 作成

連携に  
年間計  
成する。

関する  
画を作

交流活動 の事前準備

幼稚園  
と小学  
職員が  
動につ  
合せを

保育所  
校の教  
交流活  
いて打  
行う。

交流活動 の実施

幼児と  
方にと  
義のあ  
活動に

児童双  
って意  
る交流  
する。

交流活動 の振り返り

十分に  
情報の  
行い、  
次年度  
に反映

意見や  
交換を  
反省を  
の計画  
させる。

# 鳩山町の取組

## 鳩山町立鳩山小学校

### 1 連携に向けた小学校・幼稚園・保育所の教職員の交流

小学校の教職員と幼稚園・保育所が積極的に交流を行い、連携に向けて共通理解を図った。

#### 教職員合同研修会



小学校、幼稚園、保育所の教職員が相互理解を深めるとともに、幼・保・小連携の意義や実際の取組等について共通理解を図るため、合同研修会を行った。

#### 連絡会議



小学校と幼稚園・保育所の間で情報交換を中心とする連絡会議を開催し、連携に関する計画を立案したり、幼児と児童の交流の打合せ等を行ったりした。

#### 幼稚園・保育所の職員による小学校授業参観



小学校の教育内容や指導方法などの理解を深めると共に、子どもについて情報交換をするため、前年度担任した幼稚園・保育所の教職員が、授業参観を行った。

#### 幼・保・小連携推進委員会



町内の小学校と幼稚園・保育所の代表教職員が集まり、接続期のカリキュラムについて話し合いや、幼・保・小の連携に対する意見交換、子どもに関する情報交換などを行った。

### 2 幼稚園・保育所との交流

全学年が幼稚園・保育所との交流を行った。

#### 1年生



- ・ひばり保育園訪問
- ・石坂幼稚園と交流給食
- ・秋のおもちゃまつり(生活科)に幼稚園と保育所の年長児を招待

#### 2年生



- ・石坂幼稚園訪問
- ・運動会の商品袋の色ぬり(新入児徒競走の景品)
- ・鳩山幼稚園と交流給食

#### 3年生



- ・石坂幼稚園訪問
- ・運動会の招待状作り
- ・鳩山幼稚園と交流給食

#### 4年生



- ・運動会「よーい、ドン!(新入児徒競走)」手をつないで誘導
- ・ひばり保育園と交流給食

#### 5年生



- ・就学時健康診断の手伝い
- ・わくわく集会への招待状作り
- ・ひばり保育園と交流給食

#### 6年生



- ・学校案内のパンフレット作成展示
- ・わくわく集会での交流

### 3 事後の取組

幼・保・小連携推進委員会において、今年度の連携・交流を振り返り、次年度に向けて成果と課題を話し合った。

### 4 交流活動の成果と課題

- ・幼稚園・保育所と小学校の教職員の交流や合同研修を通して、両者が連携の重要性を認識できた。
- ・幼児と児童との交流を通して、幼児が小学校を身近に感じることができた。児童も幼児に優しく、親切に接する体験ができた。
- ・小学校と幼稚園・保育所との所在地が離れているため、今後どのような交流がもてるか、さらに検討していく必要がある。



# 5 参考資料

## 家庭で身につけてほしいこと

**規則正しい生活リズムを身につけましょう**  
 ・「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣を身につける  
 ・登園などの時刻を意識し、行動する

**戸外で遊びましょう**  
 ・進んで戸外に出て遊ぶ  
 ・安全に気をつけて行動する  
 ・交通ルールを知り、守る

**自分のことは自分でしましょう**  
 ・着替えや衣服の始末をする  
 ・かばんや帽子などを決まった場所にしまう  
 ・脱いだ靴をそろえる

**物を大切にしましょう**  
 ・遊んだ後の片づけをする  
 ・食べ物や紙などを大切に使う

## 子育ての目安「3つのめばえ」

### 生活

健康で安全な生活をする

自分のことは自分でする

物を大切にする

## 幼稚園・保育所・認定こども園で身につけてほしいこと

<b>先生や友達と食べることを楽しむ</b> ・食事に関するきまりやマナーを守りながら、楽しく食べる ・食べることの大切さがわかり、食べ物に関心をもつ ・生活の流れや準備・片づけの手順などを意識して、一定の時間内に食べ終えようとする	
<b>戸外で体を動かす</b> ・十分に体を動かして遊ぶ	
<b>安全に気をつけて行動する</b> ・危険な場所や危険な行動がわかり、安全に気をつける	
<b>生活に必要な活動を自分でする</b> ・着替えや持ち物の始末を自分でする ・脱いだ靴をそろえる ・困ったときに自分で考えて解決しようとする ・したり、先生や友達に相談したりする	
<b>自分の物や皆で使う物を大切にする</b> ・遊んだ後の片づけをする ・共同で遊具を使い、協力して片づけをする ・水や紙などを大切に使う	

## 幼児期の教育

<b>友達と一緒に遊ぶ</b> ・年少児などに思いやりをもってかかわる ・自分の気持ちとは異なる友達の気持ちを理解したり、共感したりする ・自分が嫌なことや困ることは友達にもし ・友達と共通の目的に向かって取り組み、やり遂げた喜びを味わう	
<b>親しみをもって日常のあいさつをする</b> ・元気よく「はい」と返事をする ・先生や友達に「おはよう」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」が自然に言える	
<b>言葉をとおして先生や友達と心を通わせる</b> ・先生や友達の話を注意して聞き、理解する ・自分の思いや考えを先生や友達に言葉で伝える	
<b>友達と共に生活する充実感を味わう</b> ・友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気づき、守ろうとする ・集団の生活の流れや時刻を意識し、みんなと一緒に行動しようとする ・よいこと、悪いことがわかり、考えながら行動する ・互いのよさを認め合い、友達と協力して活動する	

## 「遊び」をとおして行う総合的な指導から

<b>生活の中で美しいものや心を動かす</b> ・身近な自然などに触れて遊び、美しさや不思議さなどを感じる ・自然物や自然の事象を遊びや生活に取り入れ、四季を感じる ・動植物と触れ合い、生命の大切さに気づく	<b>出来事に触れる</b> や不思議さなどを感じる り入れ、四季を感じる づく
<b>興味・関心をもったものに集中して取り組む</b> ・考えたり工夫したりして遊ぶ ・いろいろなものに関心もち、より深く知ろうとしたり、試したり確かめたりする ・話や短い物語を集中して聞く	
<b>生活の中で文字や数量に触れる</b> ・文字で伝えることの楽しさや意味に気づき、生活の中で文字を使う ・生活のいろいろな場面で、物や人の数を数えたり比べたりする ・生活のいろいろな場面で、量を測ったり比べたりする	
<b>自分の思いを表現する</b> ・思ったことや感じたことを言葉で表現しようとする ・考えたことや経験したことをいろいろな方法で表現する ・絵本や物語の世界を楽しみ、感動を味わったり、演じて遊んだりする	

### 他者との関係

人とかかわる力を身につける

言葉で伝え合う

きまりや約束を守る

子育ての目安「3つのめばえ」は、小学校入学までに子どもたちに身につけてほしいことを幼児期の特性である「生活」「他者との関係」「興味・関心」の視点から取りまとめたものです。

## 生活

健康で安全な生活をし、元気に遊ぶことをとおして、自分から積極的に物事にかかわる姿勢が身につきます。自分のことを自分で行い、進んで行動できることは、小学校生活における意欲につながり、ひいては、社会に出てからも自ら考え、進んで物事を解決しようとする力になります。

## 他者との関係

幼児期においては、家族とのあたたかいつながりを基盤として、人を信頼する気持ち、他者への思いやり、社会のきまりを守ろうとする気持ちをはぐくんでいます。また、友達と共通の目的をもって取り組む活動(協同的な学び)を重視することが、小学校教育へとつながっていきます。

## 興味・関心

「ふしぎだな」「おもしろいな」と興味・関心を持ち、気づいたり、考えたり、試したりする中で、「できた」「わかった」という体験を重ね、学ぶことの楽しさを知ります。幼児期に豊かな体験を重ねることにより、小学校での学習の内容を実感をもって理解することができるようになります。

## 小学校教育

## 教科等の学習を中心とした指導へ

**いろいろなものへの興味・関心を高めましょう**  
 ・身近な自然などに触れ、美しさや不思議さなどを感じる  
 ・興味・関心をもったものにじっくりと取り組む  
 ・いろいろなものに疑問をもち、尋ねる

**生活の中で、文字や数などに触れましょう**  
 ・家の人に絵本や物語を読んでもらう  
 ・数を数えたり、集めたり、分けたりする  
 ・園の名前や自分の年齢などが言える

**夢をもちましょう**  
 ・やってみたいことやなりたい人などのあこがれをもつ

### 興味・関心

好奇心や探究心をもっていろいろなものにかかわる

文字や数量などの感覚を豊かにする

自分の思いを表現する